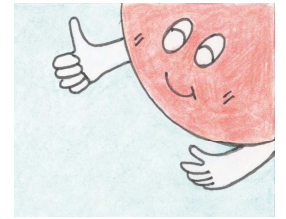


ソーラーシェアリングの 落合農園だより -その18- 2020, 7, 1

◆落合農園の紹介

農地の上にソーラーパネルを設置し、発電と営農を分かち合う(シェアする)厚木市初のソーラーシェアリングの農園です。一般社団法人あつぎ市民発電所とともに、農業振興と再生可能エネルギーの普及を目指します。無農薬で化学肥料も最小限(いずれは不使用も)という安心安全な農産物を栽培します。皆様ぜひお買い求めください! 農園のご参観も大歓迎です!

農園主 落合清春 080-5091-8844 メール koshun@live.jp
場所 厚木市飯山885-1
県道厚木清川線 バス停「ゴルフ場入口」から厚木方面に戻り、徒歩1分 右側



あつぎ市民発電所オリジナルキャラ
ひまりんちゃん
(上)
ソーラー君(右)



◆トピックス

●厚木電気の遺構見学会 -その2 (最終回) -

清川村煤ヶ谷舟沢で取水した小鮎川の水は、約1.5kmの水路を通り、上飯山の尾台橋の少し上流で山林に入った後、貯水槽(写真左)へ。そこから送水管(写真中央:管を設置した台)を経て、発電所(写真右)へ落とされ、ドイツ製のタービンを回して発電しました。送電線の総延長は8,110m。ほぼ現在の厚木清川線のバス路線に沿って電線が配置され、供給範囲は、電線路に沿った地域と旧厚木町全域に及びました。『相模人国記』(飯田孝著 市民かわら版社 2000,10,27)によると「厚木電気株式会社は、はじめは思うように資本金が集まらなかった。吉太郎の住む近くの人たちからは、『ギリシタン、パレシンのエレキを作って売るとよ』と言われ、相手にされないこともあった」とか。先駆者の苦勞が偲ばれますね。

厚木電気は、様々な曲折を経て、最終的に昭和26年、東京電力へ引き継がれました。岩崎家の近くに大きな記念碑が建っています。厚木から清川村方向へ向かって右側で、よく見えます。最寄りのバス停は「及川」です。



●無人販売所スタート!

念願の落合農園の無人販売所ができました(写真)。JA睦合支所の近くです。エステサロン「ハッピーサロンエミマ」の経営者・中里さんのご厚意で、6/24敷地内に設置させていただきました。初日に置いた10袋のニンニクは即完売という幸先良いスタート! 無農薬・無化学肥料の採れたて新鮮野菜は、全品1袋100円というリーズナブルな価格です。お近くにお越しの際はぜひお買い求めください。なお、引き続き、飯山のカフェ4分休符でも落合農園の野菜を販売させていただきます。個人的にお求めいただくのももちろん大歓迎。メールまたはお電話いただければありがたいです。



●6次産業化を図ります



1/11の通電式でもお話ししましたが、農産物をそのまま売るだけでなく、加工品として販売したいと思っています。写真は、ビーツの液を加えて焼いたパン(皮がピンク色)とキクイモ(糖尿病に効果あり)の葉の粉末を使ったクッキー。さらに改良を加えているところです。農園だよりで折に触れてご紹介します。お楽しみに!

※「落合農園だより」バックナンバーは、あつぎ市民発電所のHPでもご覧いただけます。

